

試験地	受験番号	氏名

2 電学

(受験地変更者は上欄のほか、本日の受験地と仮受験番号を記入してください。)
 本日の受験地 _____ 仮受験番号 仮一 _____

平成 20 年度

2 級電気工事施工管理技術検定試験

学科試験問題

次の注意事項をよく読んでから始めてください。

〔 注 意 事 項 〕

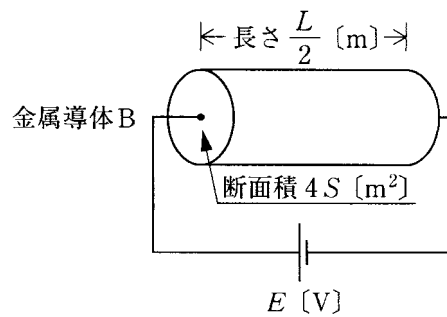
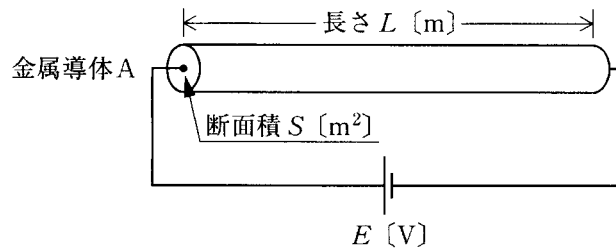
1. ページ数は、表紙を入れて〇〇ページです。
2. 試験時間は、10時30分から13時です。
3. 問題の解答の仕方は、下記によってください。
 - イ. [No. 1] ~ [No. 12] までの12問題のうちから、8問題を選択し、解答してください。
 - ロ. [No. 13] ~ [No. 32] までの20問題のうちから、11問題を選択し、解答してください。
 - ハ. [No. 33] ~ [No. 38] までの6問題のうちから、3問題を選択し、解答してください。
 - ニ. [No. 39] の問題は、必ず解答してください。
 - ホ. [No. 40] ~ [No. 52] までの13問題のうちから、9問題を選択し、解答してください。
 - ヘ. [No. 53] ~ [No. 64] までの12問題のうちから、8問題を選択し、解答してください。
4. 選択問題の解答数が指定数を超えた場合は、減点となります。
5. 解答は、別の解答用紙に、[HB] の黒鉛筆か黒シャープペンシルで記入してください。
 それ以外のボールペン・サインペン・色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
6. 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を次のマーク例にしたがってぬりつぶしてください。

マーク例	●ぬりつぶし
------	--------

7. マークを訂正する場合は、消しかたが十分でないと多答・重答となりますので消しゴムできれいに消して訂正してください。
8. 解答用紙は、雑書きしたり、よごしたり、折り曲げたりしないでください。
9. この試験問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。途中退席者や希望しない方の試験問題用紙は、回収します。

※ 問題番号 [No. 1] ~ [No. 12] までの12問題のうちから、8問題を選択し、解答してください。

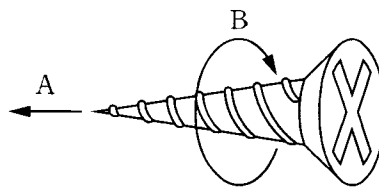
■ [No. 1] 図に示す金属導体Bの抵抗値は、金属導体Aの抵抗値の何倍になるか。ただし、金属導体A及びBの材質及び温度条件は同一とする。



1. $1/8$ 倍
2. $1/2$ 倍
3. 2 倍
4. 8 倍

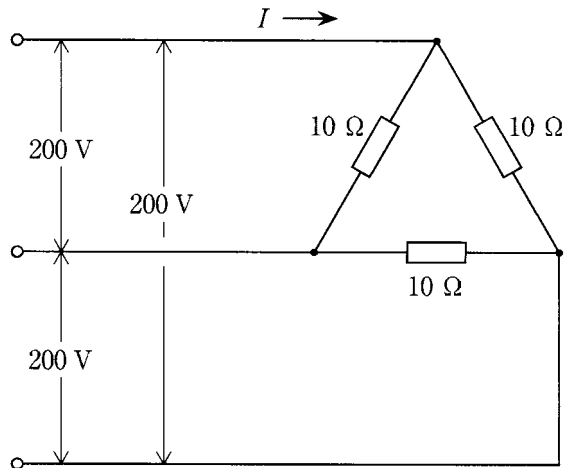
■ [No. 2] アンペアの右ねじの法則において、図に示す右ねじの進む方向Aを電流の方向としたとき、右ねじを回す方向Bに発生するものとして、適当なものはどれか。

1. 磁界
2. 起電力
3. 電界
4. 静電力



- [No. 3] 図に示す三相負荷に三相交流電源を接続したときの電流 I [A] の値として、正しいものはどれか。

1. $\frac{10}{\sqrt{3}}$ A
2. $\frac{20}{\sqrt{3}}$ A
3. $10\sqrt{3}$ A
4. $20\sqrt{3}$ A



- [No. 4] 交流電流を測定することができない計器は、次のうちどれか。

1. 可動鉄片形計器
2. 永久磁石可動コイル形計器
3. 整流形計器
4. 熱電対形計器

- [No. 5] 単相変圧器 2 台の並行運転に必要な条件に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 各変圧器を逆極性に接続する。
2. 各変圧器の巻数比、一次及び二次の定格電圧を等しくする。
3. 各変圧器のインピーダンス電圧を等しくする。
4. 各変圧器の内部抵抗とリアクタンスの比を等しくする。

- [No. 6] 同容量の単相変圧器 2 台を V 結線し、三相負荷に電力を供給する場合の変圧器の利用率として、正しいものはどれか。ただし、負荷の力率は 1 とする。

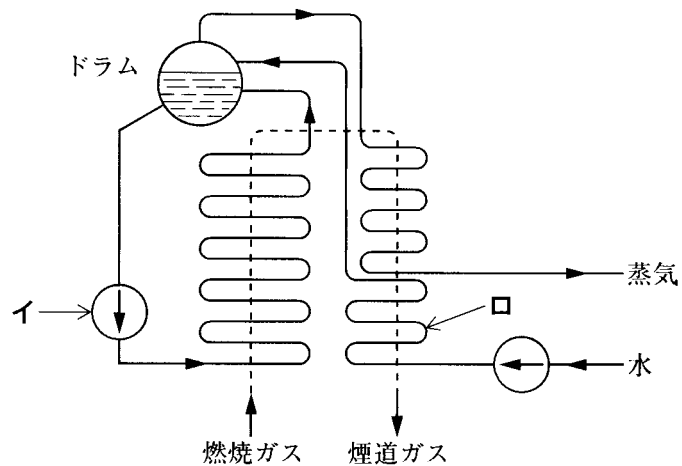
1. $\frac{1}{2}$
2. $\frac{1}{\sqrt{3}}$
3. $\frac{2}{3}$
4. $\frac{\sqrt{3}}{2}$

■ [No. 7] 交流遮断器に関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、適当なものはどれか。

「ガス遮断器では、 に SF₆ ガスを吹き付けて消弧する方式が主として採用されている。SF₆ ガスは、ガス圧の増加によって絶縁耐力が する特徴をもっている。」

- | | イ | ロ |
|----|-----|----|
| 1. | コロナ | 増加 |
| 2. | コロナ | 低下 |
| 3. | アーク | 増加 |
| 4. | アーク | 低下 |

■ [No. 8] 図に示す火力発電所で用いられる強制循環ボイラにおいて、イとロの名称の組合せとして、適当なものはどれか。



- | | イ | ロ |
|----|-------|-----|
| 1. | 給水ポンプ | 蒸発管 |
| 2. | 給水ポンプ | 節炭器 |
| 3. | 循環ポンプ | 蒸発管 |
| 4. | 循環ポンプ | 節炭器 |

■ [No. 9] 変電所の調相設備に関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、適当なものはどれか。

「電力用コンデンサは、 用として用いられ、送配電系統の 電力を段階的に調整する。」

- | | イ | ロ |
|----|----|----|
| 1. | 進相 | 有効 |
| 2. | 進相 | 無効 |
| 3. | 遅相 | 有効 |
| 4. | 遅相 | 無効 |

■ [No. 10] 配電系統で生じる電力損失の軽減対策として、不適當なものはどれか。

1. 負荷電流の不平衡を是正する。
2. 太い電線に張り換える。
3. 放電クランプを設置する。
4. 鉄損及び銅損の少ない柱上変圧器を採用する。

■ [No. 11] 全般照明において、室の平均照度 E [lx] を光束法により求める式として、正しいものはどれか。

ただし、 F : ランプ本当たりの光束 [lm] U : 照明率
 N : ランプの本数 [本] M : 保守率
 A : 室の面積 [m^2]

1. $E = \frac{FNUM}{A}$ [lx]

2. $S = \frac{FNM}{AU}$ [lx]

3. $S = \frac{FNU}{AM}$ [lx]

4. $S = \frac{FN}{AUM}$ [lx]

■ [No. 12] 電気加熱の方式に関する次の文章中、 に当てはまる用語の組合せとして、適當なものはどれか。

「誘電加熱は、交番 中に置かれた絶縁性被熱物中に生じる誘電体損により加熱するもので、周波数が 300MHz ~ 30GHz のマイクロ波を用いるものをマイクロ波加熱と呼び、 などに利用されている。」

イ ロ

1. 磁界 電子レンジ
2. 磁界 電磁調理器
3. 電界 電子レンジ
4. 電界 電磁調理器

※ 問題番号 [No. 13] ~ [No. 32] までの20問題のうちから、11問題を選択し、解答してください。

■ [No. 13] 揚水式発電所に関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、
適当なものはどれか。

「上部及び下部に池を設け、深夜その他の 時に下池の水を上池に揚水貯留し、貯留された水と上池へ河川から流れ込んだ水を発電に利用する方式を 揚水式という。」

- | | イ | ロ |
|--------|----|---|
| 1. 軽負荷 | 純 | |
| 2. 軽負荷 | 混合 | |
| 3. 重負荷 | 純 | |
| 4. 重負荷 | 混合 | |

■ [No. 14] 屋外変電所の雷害対策に関する記述として、最も不適當なものはどれか。

1. 屋外鉄構の上部に、架空地線を設ける。
2. 変電所の接地に、メッシュ布設方式を採用する。
3. 避雷器は、架空電線引込口及び引出口に施設する。
4. 避雷器の接地は、D種接地工事とする。

■ [No. 15] 計器用変成器の取り扱いに関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、適当なものはどれか。

「計器用変圧器は、一次側に電圧をかけた状態で二次側を してはならず、変流器は、一次側に電流が流れている状態で二次側を してはならない。」

- | | イ | ロ |
|-------|----|---|
| 1. 開放 | 開放 | |
| 2. 開放 | 短絡 | |
| 3. 短絡 | 開放 | |
| 4. 短絡 | 短絡 | |

■〔No. 16〕 架空電線路に使用する支持物の強度の計算に適用する丙種風圧荷重として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、正しいものはどれか。

1. 甲種風圧荷重の風圧の $1/3$ を基礎として計算したもの。
2. 甲種風圧荷重の風圧の $1/2$ を基礎として計算したもの。
3. 甲種風圧荷重の風圧の 1.5 倍を基礎として計算したもの。
4. 甲種風圧荷重の風圧の 2 倍を基礎として計算したもの。

■〔No. 17〕 架空送電線路に関する次の文章に該当する機材の名称として、最も適当なものはどれか。

「微風振動に起因する電線の疲労、損傷などを防止する目的で、電線の振動エネルギーを吸収させるため、電線に取り付けられる。」

1. ジャンパ装置
2. ダンパ
3. 懸垂クランプ
4. スパイラルロッド

■〔No. 18〕 架空配電線路の支持物に取り付けるものとして、不適当なものはどれか。

1. アームタイ
2. 高圧耐張がいし
3. 低圧開閉器
4. パッドマウント変圧器

■〔No. 19〕 中性点非接地方式の高圧配電系統において、地絡事故から系統を保護するために使用する機器として、不適当なものはどれか。

1. 地絡方向継電器
2. 零相変流器
3. 高圧カットアウト
4. 接地形計器用変圧器

- [No. 20] 電気事業者が供給する電気の電圧に関する次の文章中、 に当てはまる数値として、「電気事業法」上、定められているものはどれか。ただし、卸電気事業者及び特定規模電気事業者を除くものとする。

「標準電圧 200V の電気を供給する場所において、供給する電気の電圧の値は、202 V の上下 V を超えない値に維持するように努めなければならない。」

1. 4
2. 6
3. 12
4. 20

- [No. 21] 照明器具に関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、日本工業規格（JIS）上、正しいものはどれか。

「Hf 蛍光灯器具は、 イ 点灯専用形蛍光ランプ及び イ 点灯専用形蛍光灯 ロ 安定器を使用した蛍光灯器具である。」

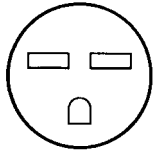
- | | イ | ロ |
|--------|---|-------|
| 1. 高周波 | | スタータ式 |
| 2. 高周波 | | 電子 |
| 3. 低周波 | | スタータ式 |
| 4. 低周波 | | 電子 |

- [No. 22] 低圧屋内幹線の電線の太さを選定する場合に検討すべき項目として、最も関係のないものはどれか。

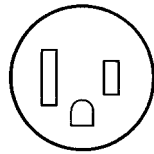
1. 絶縁抵抗値
2. 電線の種類
3. 布設方法
4. 電圧降下

■ [No. 23] 単相 200V 回路に使用する定格電流 15A の接地極付コンセントの極配置として、日本工業規格 (JIS) 上、正しいものはどれか。

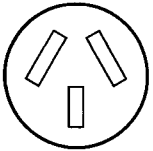
1.



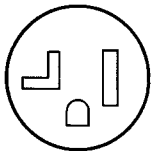
2.



3.



4.



■ [No. 24] 高圧受変電設備における断路器に関する記述として、「内線規程」上、不適当なものはどれか。

1. 横向きに取り付けない。
2. 縦に取り付けるものは、切り替え断路器の場合を除き、刃受を下部とする。
3. 刃は、開路したときに充電しないように負荷側に接続する。
4. 操作が容易で危険のおそれがない箇所を選んで取り付ける。

■ [No. 25] キュービクル式高圧受電設備の設置後、受電前に行う試験として、一般に行われないものはどれか。

1. 絶縁抵抗試験
2. 耐電圧試験
3. 短絡試験
4. 継電器試験

■ [No. 26] 触媒栓式の据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池に関する次の文章中、
□ に当てはまる語句の組合せとして、適当なものはどれか。

「公称電圧は □ イ □ であり、電池を □ ロ □ したときに発生する酸素ガスと水素ガスを、触媒反応によって水に戻す機能をもつ。」

イ ロ

1. 1.2V 充電
2. 1.2V 放電
3. 2V 充電
4. 2V 放電

■〔No. 27〕 接地工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 接地端子箱は、測定しやすい場所に設ける。
2. 接地極の埋設は、土壌の抵抗率の低い場所を選定する。
3. 接地極の埋設位置がわかるように、建物の外壁等に接地極埋設標を設ける。
4. 接地線には、素線間の毛細管現象による浸水を防止するために、躯体の中でリングスリーブを用いた接続箇所を設ける。

■〔No. 28〕 自動火災報知設備に関する次の文章に該当する機器として、適当なものはどれか。

「周囲の温度の上昇率が一定の率以上になったときに火災信号を発信する感知器」

1. 差動式スポット型感知器
2. 定温式スポット型感知器
3. 光電式スポット型感知器
4. 赤外線式スポット型感知器

■〔No. 29〕 非常警報設備に関する次の文章中、 に当てはまる数値として、消防法上、定められているものはどれか。

「非常ベル又は自動式サイレンの音響装置は、各階ごとに、その階の各部分から一の音響装置までの水平距離が m 以下となるように設けること。」

1. 10
2. 15
3. 25
4. 50

■〔No. 30〕 高周波同軸ケーブル（ポリエチレン絶縁編組形）の特性に関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、適当なものはどれか。

「特性インピーダンスにより 50 オーム形とイオーム形の種類があり、減衰量は周波数がロほど大きい。」

- | | イ | ロ |
|----|-----|----|
| 1. | 75 | 高い |
| 2. | 75 | 低い |
| 3. | 300 | 高い |
| 4. | 300 | 低い |

■ [No. 31] 電車線路に関する記述として、不適當なものはどれか。

1. カテナリちょう架式は、上部に剛性導体を設け、その下部にトロリ線を固定する方法である。
2. サードレール式は、軌道側面に設けた第三軌条から集電する方式である。
3. トロリ線には、円形みぞ付の断面形状のものが広く用いられている。
4. ハンガは、トロリ線をちょう架するのに用いる金具である。

■ [No. 32] 道路照明に関する記述として、最も不適當なものはどれか。

1. 連続照明とは、道路のある一定区間に、原則として一定の間隔で灯具を配置し、その区間を連続的に照明することをいう。
2. 道路の曲線部の連続照明では、千鳥配列が適切な誘導性を確保するのに適している。
3. 局部照明とは、交差点やインターチェンジなどの必要な箇所を、局部的に照明することをいう。
4. 横断歩道の局部照明の方式には、運転者から見て歩行者の背景を明るくしてシルエット効果を得る方式がある。

※ 問題番号〔No. 33〕～〔No. 38〕までの6問題のうちから、3問題を選択し、解答してください。

■〔No. 33〕 空気調和設備の機器に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

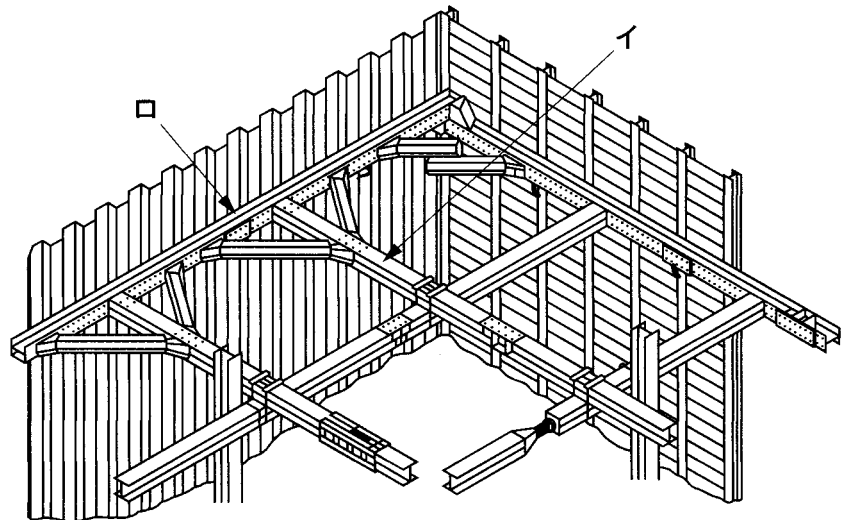
1. 全熱交換器は、室内からの排気と導入外気を熱交換させ、外気負荷を軽減する。
2. ヒートポンプは、低温部の熱エネルギーを高温部へくみ上げる熱交換の働きをする。
3. ビル用マルチエアコンは、1台の室外機に対して複数台の室内機が接続される。
4. ファンコイルユニットは、蒸発器で冷水、凝縮器で温水を発生させる。

■〔No. 34〕 アスファルト舗装に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

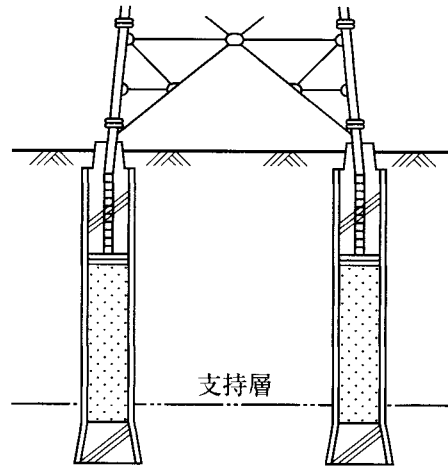
1. 着色舗装は、街並との調和、美観、景観や交通安全対策などを考慮して用いられる。
2. 透水性舗装には、空げきが小さく細粒分が多いアスファルト混合物を使用する。
3. 路盤は、一般に下層路盤と上層路盤の二層で構成される。
4. 路盤は、表層および基層から伝達される交通荷重を支え、均等に分散して路床に伝える役割をもっている。

■〔No. 35〕 図に示す山留め支保工に関するイとロの名称の組合せとして、適当なものはどれか。

- | イ | ロ |
|--------|-----|
| 1. 切 梁 | 中間杭 |
| 2. 切 梁 | 腹起し |
| 3. 火打ち | 中間杭 |
| 4. 火打ち | 腹起し |



■〔No. 36〕 図に示す送電用鉄塔の基礎の名称として、適当なものはどれか。



1. 井筒基礎
2. べた基礎
3. ロックアンカー基礎
4. 既製コンクリートぐい基礎

■〔No. 37〕 鉄道線路及び軌道構造に関する記述として、不適當なものはどれか。

1. 施工基面とは、路盤の高さの基準面をいう。
2. 直結軌道は、レールを鋼橋、コンクリート版、スラブなどに直接締結した軌道をいう。
3. ガードレールとは、脱線防止又は脱線した車両の軌道外への逸走防止などを目的として、本線レールに沿って敷設する設備の総称をいう。
4. 絶縁継目とは、ロングレールの端部に敷設して、レールの伸縮を許容する継目をいう。

■〔No. 38〕 鉄筋コンクリート構造の事務所ビルにおける、スラブのコンクリート打設後の配筋順序として、最も適當なものはどれか。

1. 柱→梁→上階のスラブ→壁
2. 壁→柱→上階のスラブ→梁
3. 柱→壁→梁→上階のスラブ
4. 壁→上階のスラブ→柱→梁

※ 問題番号〔No. 39〕の問題は、必ず解答してください。

■〔No. 39〕 自動火災報知設備の配線用図記号とその名称の組合せとして、日本工業規格（JIS）上、誤っているものはどれか。

- | | 図記号 | 名称 |
|-----|---|-------------|
| 1 . |  | 差動式スポット型感知器 |
| 2 . |  | 煙感知器 |
| 3 . |  | 警報ベル |
| 4 . |  | 表示灯 |

※ 問題番号〔No. 40〕～〔No. 52〕までの13問題のうちから、9問題を選択し、解答してください。

■〔No. 40〕 ディーゼル発電設備の施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 燃料小出槽の通気管を、室内換気用の排気ダクトに接続した。
2. 排気管には、運転時の変位や振動を防止するための措置を施した。
3. 共通台板と基礎の間に、ストッパ付き防振装置を設けた。
4. 発電機と電線の接続部には十分に余長をもたせて、電線端子部に張力がかからないようにした。

■〔No. 41〕 高圧架空配電線路の施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 延線中に電線が腕金にこすれて傷がつかないように、延線ローラを取り付けた。
2. 高圧電線は、圧縮スリーブを使用して接続した。
3. 延線した高圧電線は、張線器で引張り、たるみを調整した。
4. 高圧電線の引留支持用には、玉がいしを使用した。

■〔No. 42〕 低圧屋内配線に関する記述として、「内線規程」上、不適当なものはどれか。

1. 金属管配線は、点検できない水気のある場所に施設できる。
2. 二種金属製可とう電線管を用いた金属製可とう電線管配線は、湿気の多い露出した場所に施設できる。
3. ビニル外装ケーブルは、二重天井内でケーブルに張力が加わらないように施設することで、ころがしとすることができる。
4. 合成樹脂管配線において、合成樹脂製可とう管（PF管）相互は、カップリング等を使わずに直接接続できる。

■〔No. 43〕 電車線に関する次の文章に該当する区分装置（セクション）として、適当なものはどれか。

「交流、直流区間ともに広く採用され、パンタグラフ通過中に電流が中断せず、高速運転に適するが、長さが長くなるので、駅構内には使用困難な場合が多い。」

1. BT セクション
2. がいし形セクション
3. エアセクション
4. FRP セクション

■〔No. 44〕 防犯設備に関する次の文章に該当する機器として、適当なものはどれか。

「レーザダイオードや発光ダイオードを利用し、投光器と受光器の間をさえぎる物がある場合に異常を検知する。」

1. 熱線検知器
2. 赤外線検知器
3. 衝撃検知器
4. 超音波検知器

■〔No. 45〕 設計図書として、「公共工事標準請負契約約款」上、不適当なものはどれか。

1. 図面
2. 仕様書
3. 見積書
4. 現場説明書

■〔No. 46〕 消防用設備等の届出に関する次の文章中、 に当てはまる語句として、「消防法」上、定められているものはどれか。

「設置届出書は、工事が完了した日から以内に消防長又は消防署長に届け出なければならぬ。」

1. 2日
2. 4日
3. 10日
4. 14日

■〔No. 47〕 工程管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

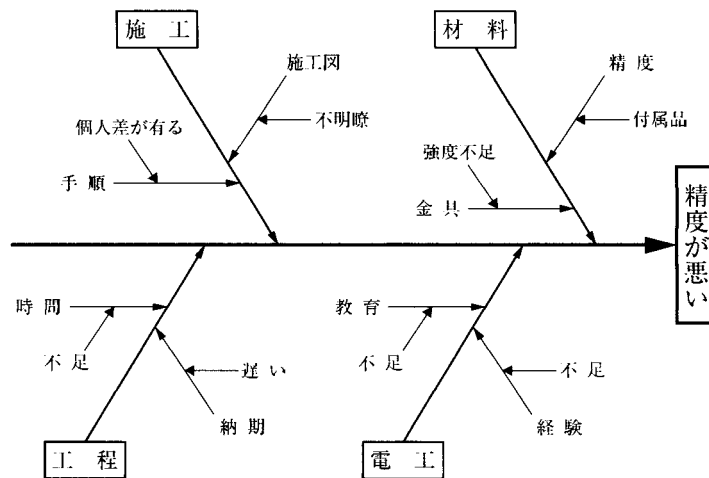
1. 常にクリティカルな工程を把握し、重点的に管理しなければならない。
2. 万一遅れを生じた場合は、原因を究明して早急に対策を立てる。
3. 施工速度を上げるほど、一般に品質は向上する。
4. 進捗度曲線（Sチャート）は、工事の進捗に応じた数量や出来形などの累積値を縦軸に、時間を横軸に配置したものである。

■ [No. 48] 工程表に関する次の文章に該当する名称として、適当なものはどれか。

「縦軸を階層、横軸を暦日とし、同種の作業を複数の工区や階で繰り返し実施する場合の工程管理に適しており、システム化されたフローチャートを階段状に積み上げた工程表である。」

1. バーチャート工程表
2. ガントチャート工程表
3. タクト工程表
4. アロー形ネットワーク工程表

■ [No. 49] 図に示す品質管理に用いる図表の名称として、適当なものはどれか。



1. 散布図
2. 特性要因図
3. パレート図
4. ヒストグラム

■ [No. 50] 低圧回路の絶縁抵抗測定に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 測定前に、接地端子（E）と線路端子（L）を短絡し、指示値が無限大であることを確認した。
2. 測定回路に、半導体など測定電圧をかけることにより破壊されるような機器が接続されていないことを確認した。
3. 静電容量の大きい回路は、絶縁抵抗計の指示値が安定したところで計測した。
4. 測定前に、絶縁抵抗計の電池チェックを行い、有効表示であることを確認した。

■ [No. 51] 移動式足場（ローリングタワー）の設置及び使用に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 作業床の高さが2mであったので、安全な昇降設備を設けた。
2. 作業床の周囲に設ける手すりの高さを90cmとし、中さんを設けた。
3. 作業床上では、脚立の使用を禁止した。
4. 作業床上の作業員が安全帯を使用していることを確認して、足場を移動させた。

■〔No. 52〕 停電作業を行う場合の措置として、「労働安全衛生法」上、不適當なものはどれか。

1. 作業開始前に、作業の方法及び順序を周知徹底させ危険予知を行った。
2. 電路が無負荷であることを確認したのち、高圧の電路の断路器を開路した。
3. 開路に用いた開閉器に、作業中、通電禁止に関する表示をしたので、監視人を置くことを省略した。
4. 検電器具で停電を確認したので、開路した高圧の電路の短絡接地を省略した。

※ 問題番号〔No. 53〕～〔No. 64〕までの12問題のうちから、8問題を選択し、解答してください。

■〔No. 53〕 一般建設業の許可を受けた電気工事業者に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 電気工事に関して10年以上実務の経験を有する者は、営業所ごとに置かなければならない専任の技術者になることができる。
2. 一の都道府県にのみ営業所をもつ場合、営業所に置く専任の技術者を変更したときは、定められた書面を国土交通大臣に提出しなければならない。
3. 発注者から直接請け負った電気工事を施工する場合、下請代金の総額が政令で定める金額未満であれば下請契約を締結することができる。
4. 引き続いて年以上営業を休止した場合、当該許可は取り消される。

■〔No. 54〕 建設工事の施工技術の確保に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 市町村が発注者である電気工事の現場に専任で置かなければならない監理技術者は、監理技術者資格者証の交付を受けている者であって、国土交通大臣の登録を受けた講習を受講した者でなければならない。
2. 発注者から直接請け負った建築一式工事の監理技術者は、電気工事を下請けに出した場合、その電気工事の主任技術者を兼ねることができる。
3. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者は、電気工事の主任技術者になることができる。
4. 工事現場における電気工事の施工に従事する者は、主任技術者又は監理技術者がその職務として行う指導に従わなければならない。

■〔No. 55〕 電気工作物として、「電気事業法」上、定められていないものはどれか。

1. 水力発電のために設置するダム
2. 火力発電のために設置するボイラ
3. 船舶に設置する発電機
4. 電気事業者から電気鉄道用変電所へ電力を供給するための送電線路

■〔No. 56〕 電気工事業者が営業所ごとに備える帳簿において、電気工事ごとに記載しなければならない事項として、「電気工事業の業務の適正化に関する法律」上、定められていないものはどれか。

1. 電気工事の種類および施工場所
2. 主任電気工事士の免状の種類および交付番号
3. 施工年月日
4. 配線図

■〔No. 57〕 電気工事に使用する機材のうち、「電気用品安全法」上、技術上の基準が定められていないものはどれか。

1. プルボックス
2. 配線器具
3. ヒューズ
4. 電線管

■〔No. 58〕 一般用電気工作物に係る電気工事の作業のうち、「電気工事士法」上、電気工事士でなければ従事してはならない作業から除かれているものはどれか。

1. 接地極を地面に埋設する作業
2. 線ぴに電線を収める作業
3. 露出型点滅器を取り換える作業
4. 埋込型コンセントを取り換える作業

■〔No. 59〕 建築設備として、「建築基準法」上、定められていないものはどれか。

1. 避雷針
2. 電気設備
3. 誘導標識
4. 消火設備

■〔No. 60〕 消防設備士に関する記述として、「消防法」上、誤っているものはどれか。

1. 消防設備士免状の種類には、甲種と乙種がある。
2. 漏電火災警報器の整備は、乙種第7類の消防設備士が行うことができる。
3. 消防設備士は、その業務に従事する場合は、消防設備士免状を携帯していなければならない。
4. 自動火災報知設備の電源部分の工事は、甲種第4類の消防設備士が行わなければならない。

■ [No. 61] 衛生委員会に関する次の文章中、 に当てはまる数値として、「労働安全衛生法」上、定められているものはどれか。

「事業者は、常時 人以上の労働者を使用する建設業の事業場ごとに、衛生委員会を設けなければならない。」

1. 10
2. 30
3. 50
4. 100

■ [No. 62] 労働者の就業に当たっての措置に関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、「労働安全衛生法」上、適当なものはどれか。

「事業者は、 イ 業務で、厚生労働省令で定めるものに労働者をつかせるときは、当該業務に関する安全又は衛生のための ロ を行なわなければならない。」

イ

ロ

- | | |
|------------|-------|
| 1. 危険又は有害な | 特別の教育 |
| 2. 危険又は有害な | 技能講習 |
| 3. 新たな | 特別の教育 |
| 4. 新たな | 技能講習 |

■ [No. 63] 使用者が、労働者名簿に記入しなければならない事項として、「労働基準法」上、定められていないものはどれか。

1. 労働者の生年月日
2. 労働者の雇入の年月日
3. 労働者の住所
4. 労働者の労働日数

■ [No. 64] 建設工事に伴って生じた廃棄物のうち、特別管理産業廃棄物として、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上、定められているものはどれか。

1. 木くず
2. 廃プラスチック類
3. コンクリートの破片
4. 廃ポリ塩化ビフェニル